

3月景況感・ニーズ調査結果と景況感分析

＜3月の景況感・ニーズ調査の結果の抜粋と調査結果を受けてD I 値等による景況感分析＞

平成22年4月21日

なかつがわ全市緊急経済対策本部

＜3月景況感・ニーズ調査＞

- ・前年同期と比べた場合では、調査項目全てで改善傾向となり、採算性と資金繰りが少し低い水準にありますが、景気回復までもう少しのところまで来ているものと思われます。
- ・6ヶ月先の見通しは、従業員の過剰感や資金繰りでほぼ横ばいを見込む予想となっていますが、受注売上高と採算性で大幅な改善を見込む予想となっており、景気回復の兆しが見える予想となっています。また、雇用は今春の採用者が12月調査時の72人から92人に増えましたが、まだ厳しい状況が続くものと思われます。
- ・行政への要望については、発注関係、農林業支援、雇用等助成金、減税、住宅関係支援などが多く要望されています。
- ・本部の取組みについては、肯定的なものが26件、否定的なものが14件という結果となりました。

＜景況感分析＞

- ・D I 値を使った業種ごとの分析では、全体的に改善傾向を示しましたが、見通しでは改善もしくは現状維持となっています。特に製造業の急激な回復を示しているものの、消費の低迷に伴いサービス業で採算性で、発注の厳しさから建設業で受注売上高で悪化傾向を示しています。また、雇用は改善傾向にあり、回復の遅れのあった製造業で回復傾向にありますが、新卒者等には厳しい状況が続くものと思われます。また、見通しでは、建設業が全てで悪化を予想し、サービス業で従業員の過剰感を卸・小売業で資金繰りの悪化を予想しており、今後は業種ごとの動向を注視していく必要があると思われます。
- ・過去の調査との分析でも、全ての項目で回復若しくはそれに近いところまで改善しており、見通しでも回復に近いところの予想となっており、全体的には景気回復の兆しが見えるところまで来ているものと思われますが、業種においては、悪化を見込むものもあるため、今しばらくは注視していく必要があると思われます。

◎D I 値とは

日本銀行で発表している「主要(全国)企業短期経済観測調査」いわゆる「日銀短観」で使われている経済指数をディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)略して「D I 値」といいます。

「D I 値」は、単純に3つの選択肢、たとえば「良い」、「変わらない」、「悪い」を用意し、回答から%を求め「良い」の%から「悪い」の%を引いた指数(%ポイント)が0を境に0以上になれば景気回復、0以下になれば景気後退を示す方法です。

3月景況感・ニーズ調査結果

なかつがわ全市緊急経済対策本部事務局

○ 調査の概要

1 調査の目的

市内事業所の実態と動向を把握し、現在の経済危機が市内の事業所にどのような影響を及ぼしているか、さらに今後の状況はどのようになると予想されているのかを調査し、併せて行政への要望と現在までの取組みに対する意見等を調査し、今後の緊急経済対策の分析資料とするとともに取組みに対する検証の資料とすることを目的とする。

2 調査対象

市内の事業所のうちから、中津川商工会議所及び中津川北商工会において抽出された、389事業所と農林畜産業の景況感聞き取り調査団体を対象とした。

抽出数	中津川商工会議所	289	事業所
	中津川北商工会	100	事業所
	農林畜産業団体	34	事業所
	計	423	事業所

3 調査方法

アンケート方式
(調査用紙を郵送又はFAX送信して、FAXで回答)

4 調査期間

3月15日～4月12日(回答期限3月31日から延長)

5 調査項目

【景況感調査】

- 1) 受注(売上高)について { ①前年同期と比べて ②前月と比べて
③6ヶ月先の見通し ④1ヶ月先の見通し
- 2) 採算性について { ①前年同期と比べて
②6ヶ月先の見通し
- 3) 従業員について { ①前年同期と比べて ②前月と比べて
③6ヶ月先の見通し ④1ヶ月先の見通し
⑤平成22年春の採用予定
- 4) 資金繰りについて { ①前年同期と比べて
②6ヶ月先の見通し

【ニーズ調査】

- 5) 行政に望むもの
- 6) なかつがわ全市緊急経済対策本部の取組みについて

6 回答数

167件(4月15日回答分を含む)

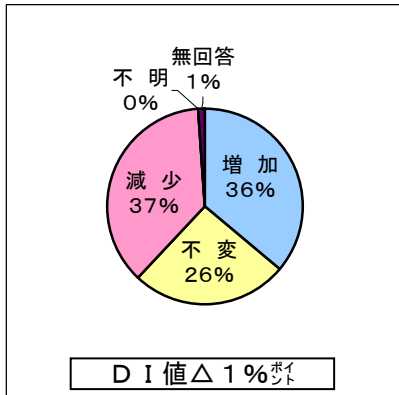
《業種別》		《地区別》	
農林業	26件	中津川	104件
建設業	24件	坂下・川上・山口	13件
製造業	50件	加子母・付知・福岡・蛭川	50件
運輸業	6件	計	167件
卸・小売業	22件		
サービス業	39件		
計	167件		

3月景況感調査結果

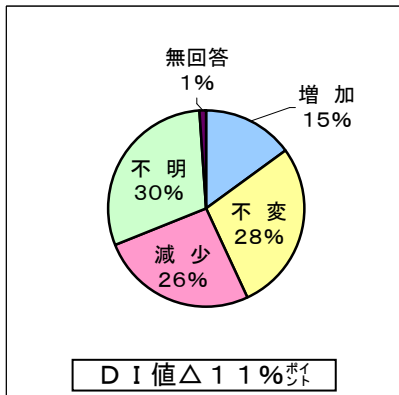
【景況感調査】

1) 受注(売上高)について

①前年同期と比べて

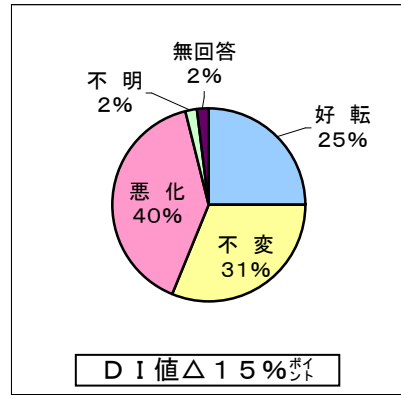


②6ヶ月先の見通し

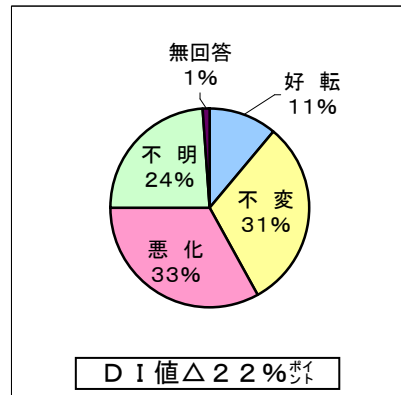


2) 採算(収益)性について

①前年同期と比べて

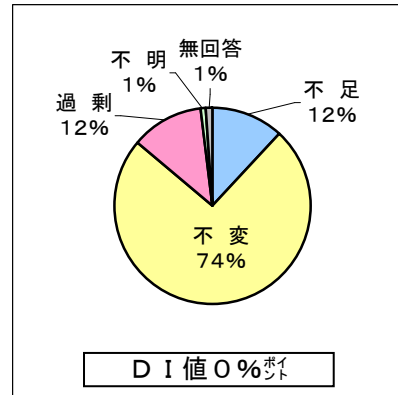


②6ヶ月先の見通し

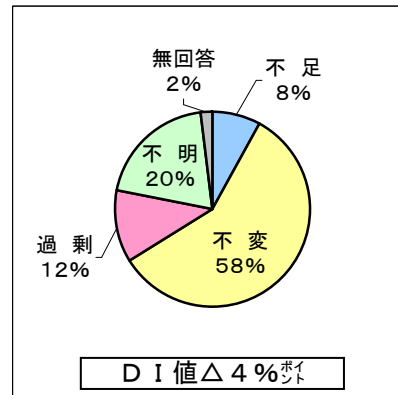


3) 従業員について

①前年同期と比べて

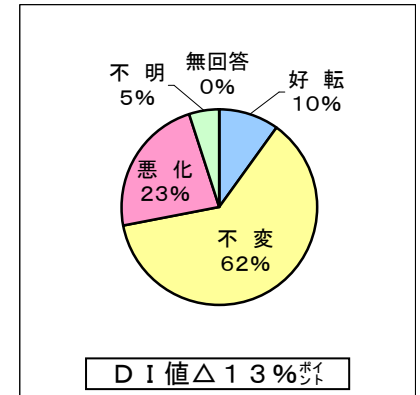


②6ヶ月先の見通し

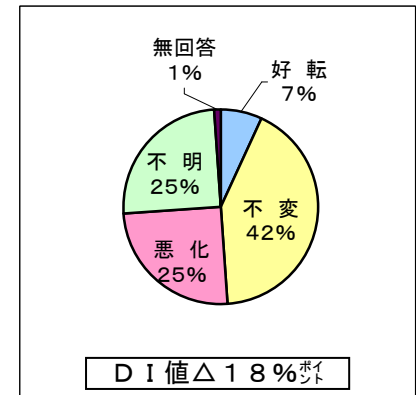


4) 資金繰りについて

①前年同期と比べて



②6ヶ月先の見通し



【ニーズ調査】

行政へ望むもの

・地元企業に優先的に工事や事業を発注してほしい。	16 件
・その他工事や事業の発注に関係するもの。	6 件
・生産物の価格の安定など農林業支援に関するもの。	9 件
・雇用の安定や助成金に関するもの。	7 件
・各種税制での優遇や減免をしてほしい。	5 件
・住宅の新築支援などに関するもの。	4 件
・緊急経済対策の継続をしてほしい。	4 件
・地域の活性化の推進に関するもの。	4 件
・その他緊急経済対策としての支援や助成に関するもの。	8 件
・市政全般に関するもの	10 件
・緊急経済対策に対して「要望なし」などという意見	8 件
計	81 件

なかつかわ全市緊急経済対策本部の取組みについて

〔肯定的な意見〕

・対策の継続や推進を期待する。	12 件
・とてもありがたい。	6 件
・良い事だと思う。	4 件
・その他「取り組みに感謝する。」や「商品券は効果があった。」など	4 件
計	26 件

〔否定的な意見〕

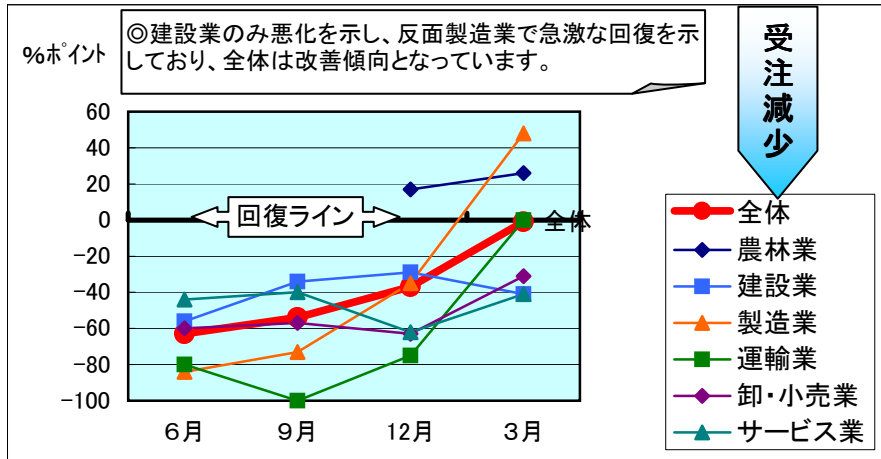
・特に意見なし。	5 件
・対策が感じられない。	4 件
・その他「効果が良くわからない。」や「対策は必要ない。」など	5 件
計	14 件

〔要望的な意見〕

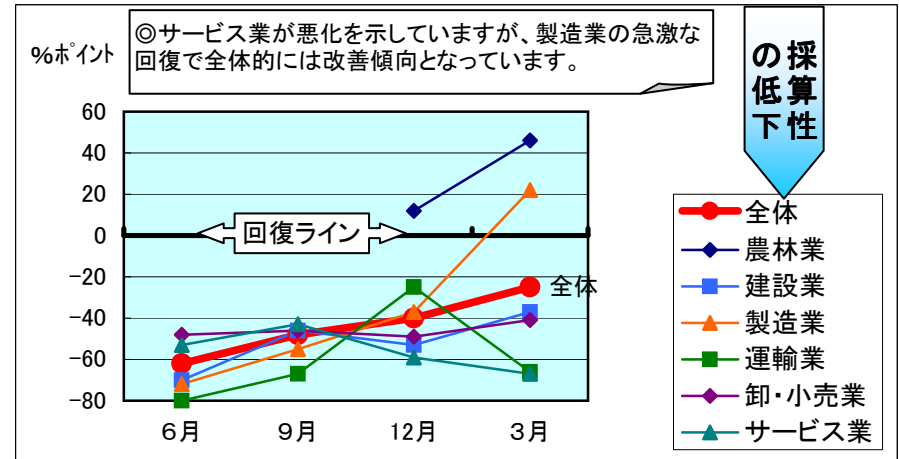
・工事や事業の発注に関係するもの。	6 件
・金融支援に関するもの。	4 件
・雇用対策に関するもの。	3 件
・地産地消の推進に関するもの。	2 件
・その他経済の活性化や取引の支援などに関するもの。	3 件
計	18 件

全体に対する業種ごとのD I値による分析 ～前年同期と比べて～

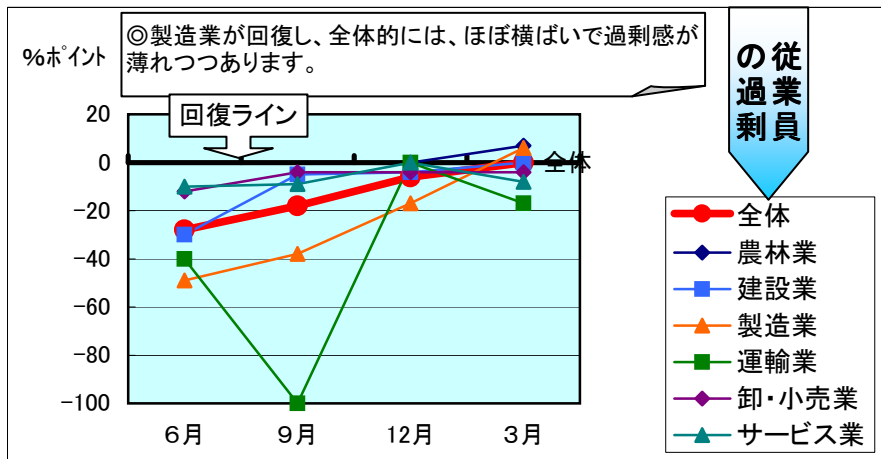
1) 受注（売上高）について



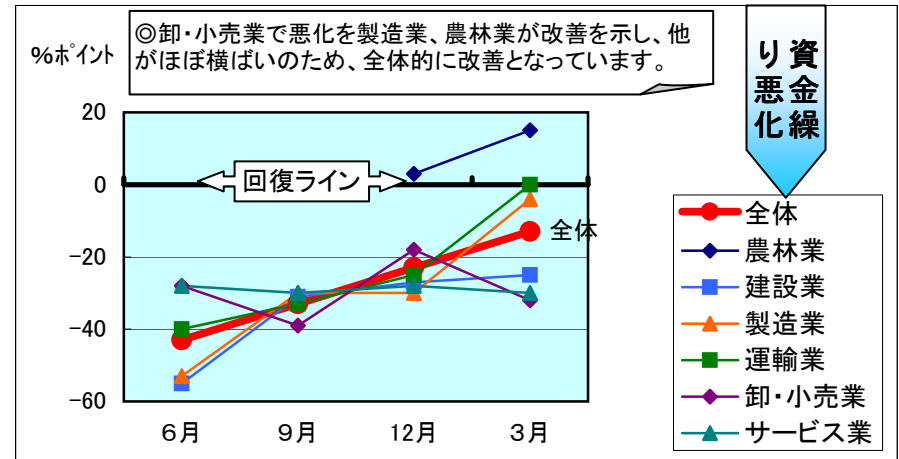
2) 採算（収益）性について



3) 従業員について

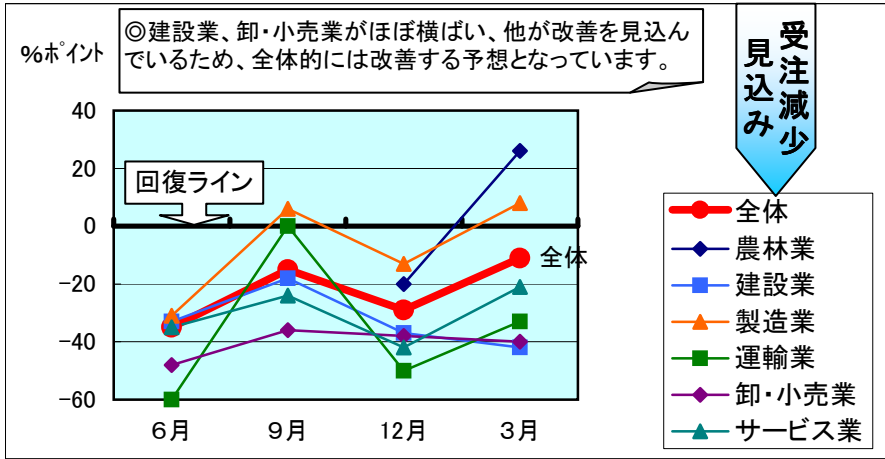


4) 資金繰りについて

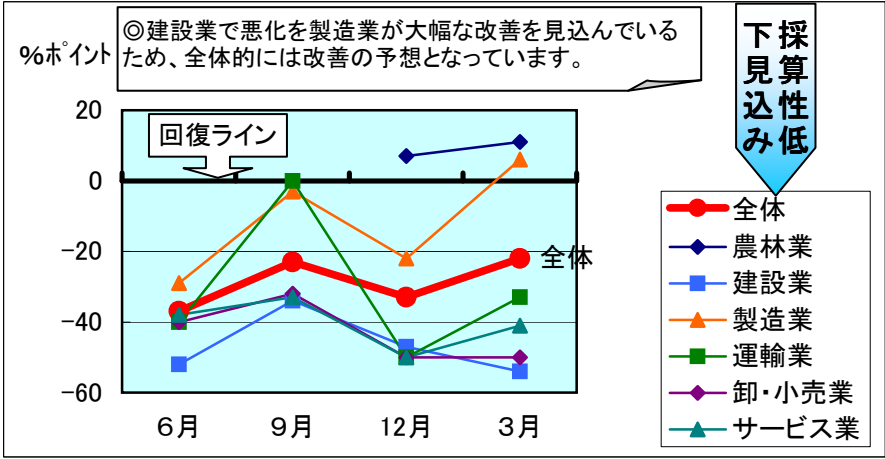


全体に対する業種ごとのD I 値による分析 ～6ヶ月先の見通し～

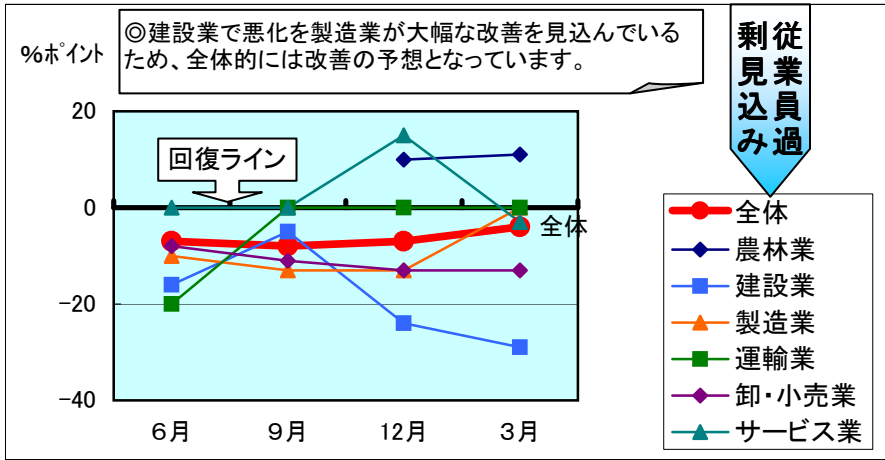
1) 受注 (売上高) について



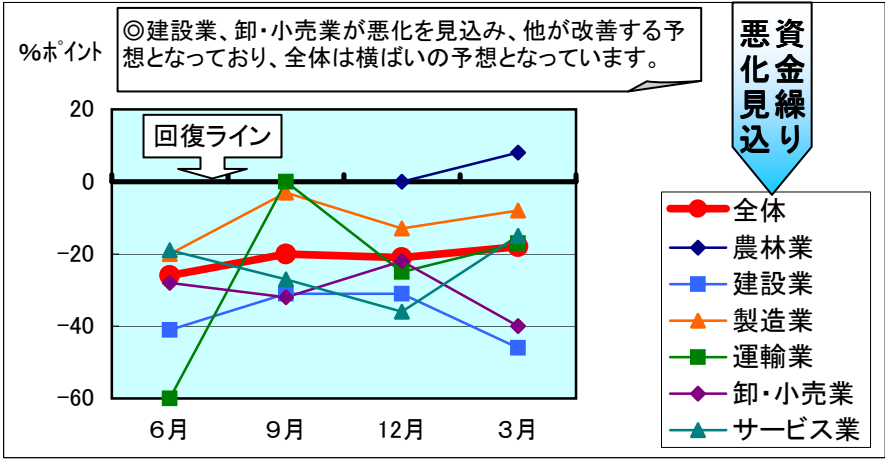
2) 採算 (収益) 性について



3) 従業員について



4) 資金繰りについて

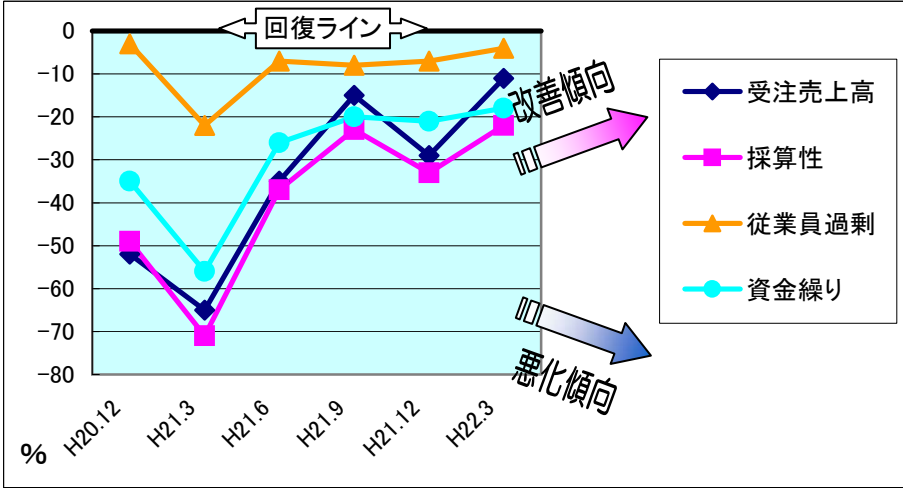
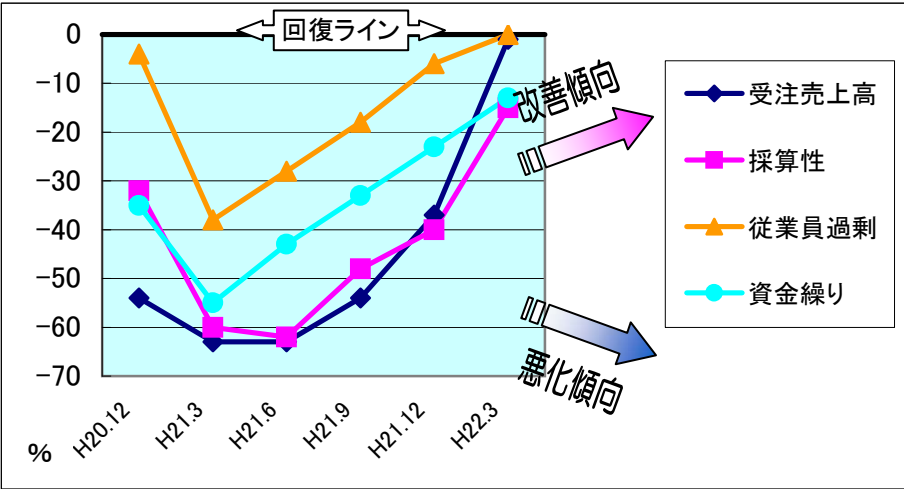


景況感調査のD I 値による分析（3月）

◎H20. 12月・H21. 3月・6月・9月・12月の調査と比較して分析

設問 ①前年同期と比べて

設問 ②6ヶ月先の見通し



◎ 受注売上高と従業員の過剰感はほぼ回復を示し、採算性と資金繰りもかなりの改善示しています。ここにきて全体的に改善傾向が示されており、回復までもう少しのところまで来ているものと思われます。

◎ 従業員の過剰感や資金繰りは、ほぼ横ばいの予想となっていますが、受注売上高と採算性は、大幅な改善を予想しており、景気回復の兆しが見える予想となっています。

≪使用資料≫

会員実態・業況調査 (H20. 9～12)	中津川北商工会	1, 172社	⇒	H20. 12
緊急経済アンケート調査 (H21. 2～3)	中津川商工会議所	100社	⇒	H21. 3
景況感・ニーズ調査 (H21. 6)	本部	159社	⇒	H21. 6
景況感・ニーズ調査 (H21. 9)	本部	150社	⇒	H21. 9
景況感・ニーズ調査 (H21. 12)	本部	222社	⇒	H21. 12
景況感・ニーズ調査 (H22. 3)	本部	167社	⇒	H21. 3